



もっと仲良く「日中韓」～九大生企画による日中韓学生の交流会～

概要

本学の大学院生が学内の日本人学生向けに中国・韓国に関する情報発信を行い、両国からの留学生と日本人学生との交流を活性化させ、併せて日本人学生に両国への留学に興味を持たせようという取り組みを実施しています。「韓国事情」「中国事情」と名付けたこの情報交換会は、1月26日（水）、27日（木）にそれぞれ最終回を迎え、日中韓学生のグループディスカッションを含めた交流の場とします。

背景

本学には、中国と韓国からの留学生はあわせて1,400名近く在籍しており、これは在籍留学生数の約70%を占めますが、彼らが日本人学生と交流する機会は意外に少ないのが実情です。学内に同国人のコミュニティができあがり、日本人学生の手を借りずともキャンパスライフに特段の支障が無いこと、自分の所属する研究室以外では日本人学生と知り合う機会が少ないことがその理由に挙げられます。しかし、実際は彼らの多くが日本人学生との交流を望んでいます。

このような中、中国と韓国両国に留学経験を持つ大学院生（比較社会文化学府修士1年 永嶋洋一）が、身近にいる両国留学生からそのような声を聞き、「中国事情」「韓国事情」という情報交換会を企画するに至りました。この交換会は、日本人学生の両国に対する理解を深めるとともに、学内の日中韓の学生がもっと身近に交わり合える場の提供と雰囲気作りを目標としています。

なお、この企画は語学教員の協力を得て、中国語・韓国語を履修する学生へ向けて募集を行ったほか、本学国際部が「国際部協賛学生プロジェクト」として学内にポスターを掲示するなど、広報活動の支援を行いました。（国際部では、留学生との交流や留学経験の伝達等の分野で、学生が学生の目線で企画し、自ら運営するプロジェクトを奨励・募集しています。）

内容

中国・韓国の文化に関する最新事情を留学生が発表し、中国・韓国へ留学経験のある日本人学生が留学体験と留学情報を発表します。

12月から開始した「中国事情」「韓国事情」は共に2回を終え、最終回となる第3回（日時は下記参照）は、日中韓学生のグループディスカッションを含めた交流会を行います。

「韓国事情」：平成23年1月26日（水）18:30～19:30

「中国事情」：平成23年1月27日（木）18:30～19:30

会場：伊都キャンパス センター2号館 3階 2310教室



効果

「中国事情」は計31名（日本人8名、中国人21名、韓国人2名）、「韓国事情」は計46名（日本人21名、韓国人10名、中国人15名）の日中韓学生がこれまでに参加しました。日本人学生には中国・韓国への留学に興味を持つ学生も含まれ、留学促進効果が見込まれます。また、日本人学生の中には中国語や韓国語の会話パートナーを求めている者もあり、交流会を通して人脈を増やし、会話の練習環境を得ることもつながります。

今後の展開

今回主催した大学院生が、2月から再度中国へ留学する予定であるため、本企画は1月26日・27日で終了します。しかし、今後も同様の企画もしくは新たな企画を学生から募集して、開催していく予定です。

【お問い合わせ】

国際交流推進室 西原暁子

電話：092-642-4275

FAX：092-642-4273

Mail：nishihara.akiko.007@m.kyushu-u.ac.jp

2011
九州大学
100年

